

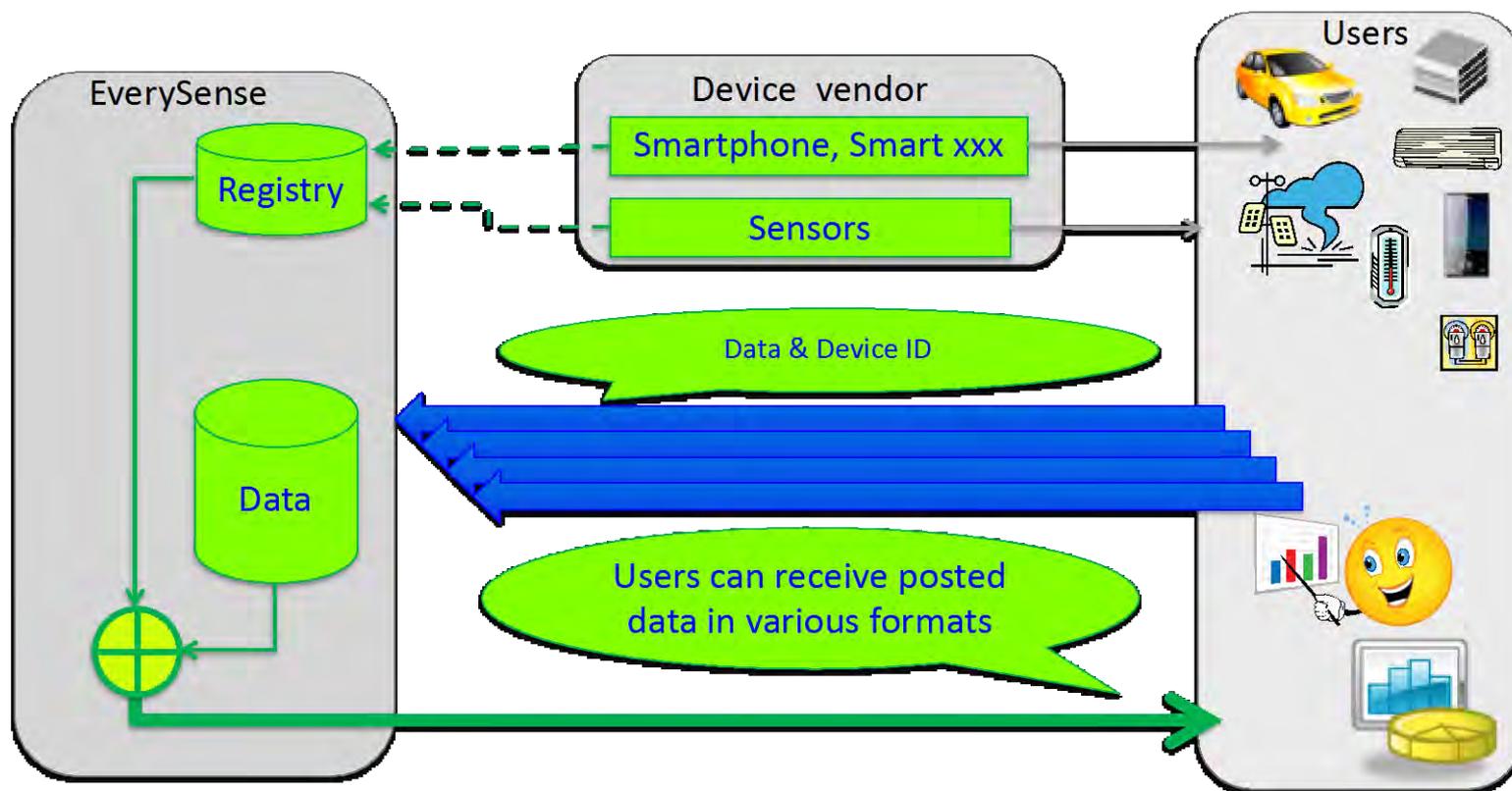
# データ取引市場の最新動向ケーススタディ

## データ取引市場 **EVERYSENSE**

### 仕組みと利用方法

## 相互接続性の提供の技術的な仕組み

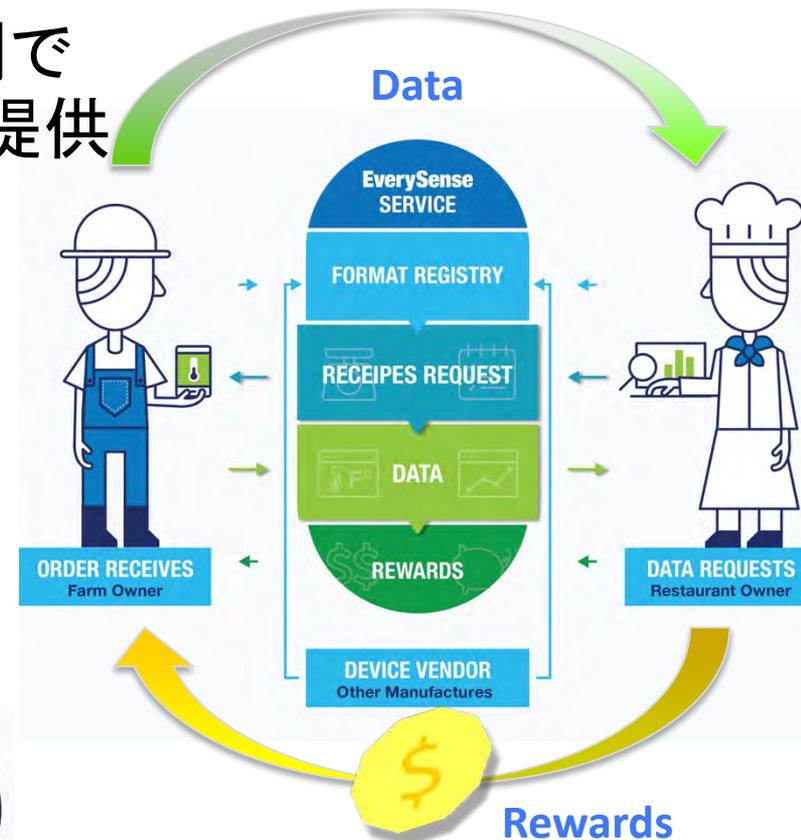
- データとデバイス依存の情報を分離する
- オープンなデバイスデータベースを提供 ⇒ 国際標準化へ
- データを意味ある汎用データに変換



## データ価値分配の仕組み

- データ提供者とデータ受領者の間で授受担保(エスクロー)サービスを提供します。

- 個人情報の保護機能
- 需給マッチング機能
- 広範な汎用データ収集機能
- データ提供者への報酬分配機能



**Privacy**

Control and Secure your data



**Fairness**

Exchange your data with fairness

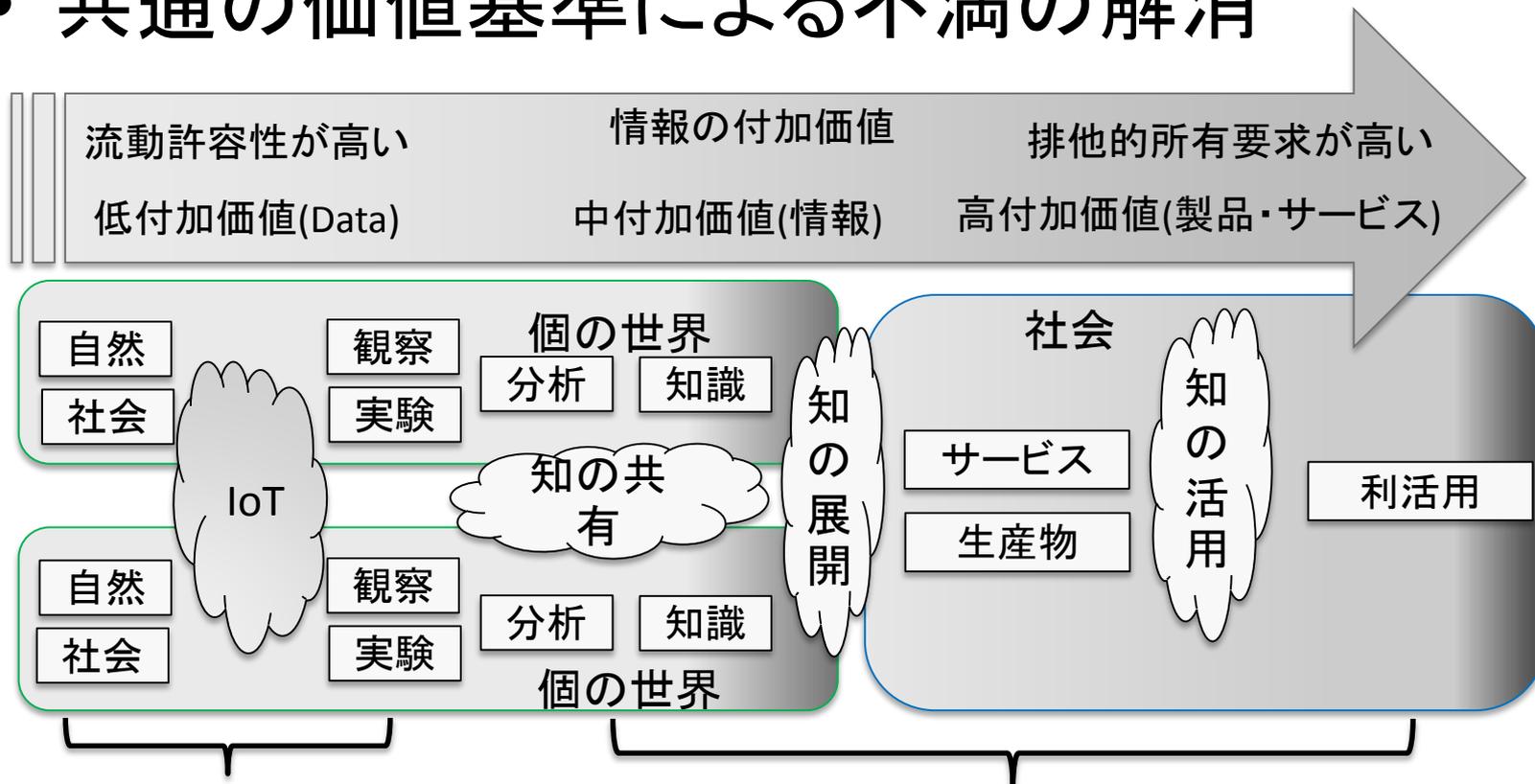


**Divvy**

Share the business value of your data

# データ流通の不安と不満の解消

- 低付加価値なDataに注目
- 共通の価値基準による不満の解消

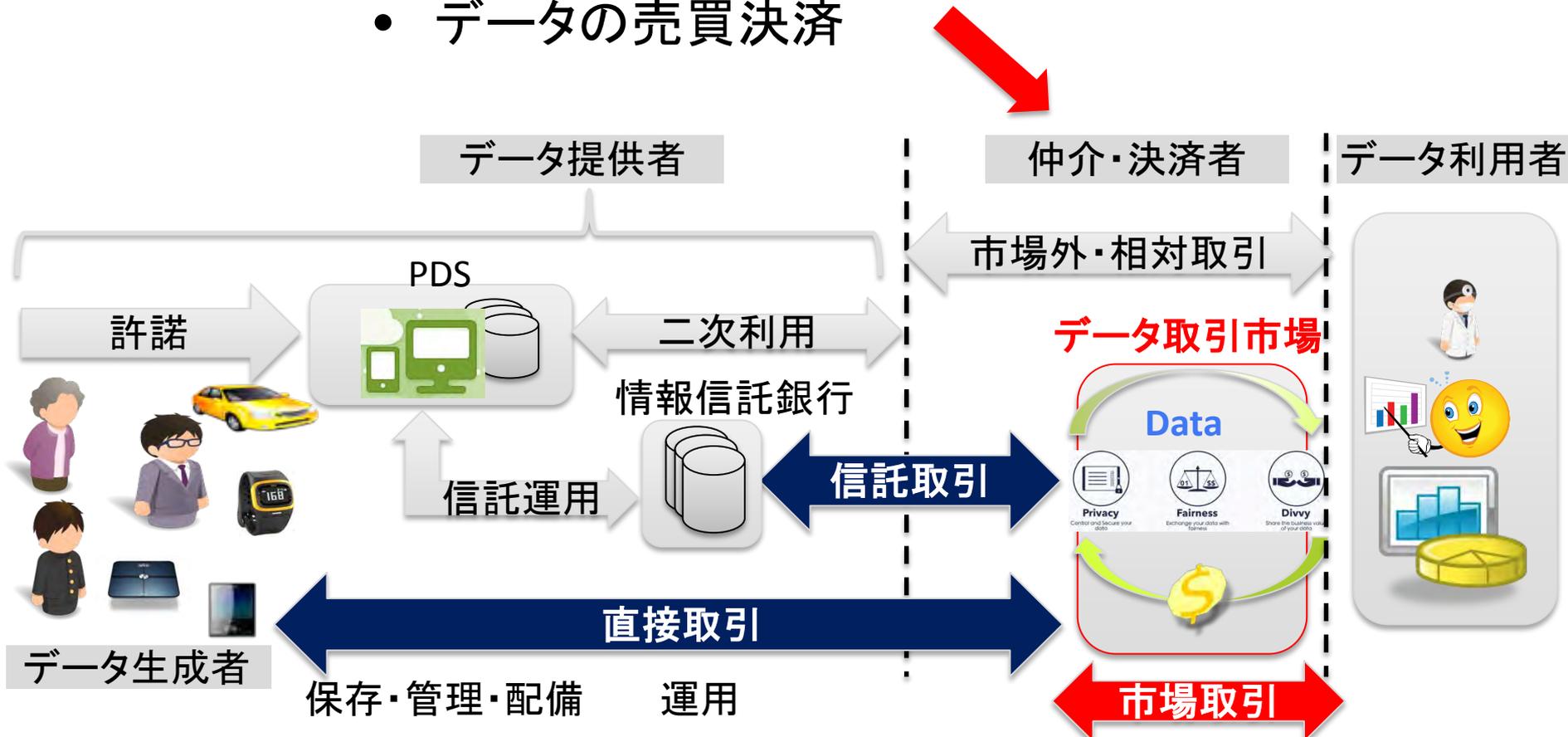


IoTによるインターネットの領域    従来インターネットの領域(Google, Yahoo, Amazon)

# データ流通における取引市場の位置付け

## データ取引市場の機能

- データ提供者と利用者の仲介
- データの売買決済



## PDS・情報銀行事業者の責務 (データ取引市場運営者の視点から)

- **情報提供者としての分類**
  - データ取引市場運営者にとっては、情報所有者か、情報所有者から信託または許諾された者かは、区別れさない。
- **情報所有者からの許諾**
  - **利用の範囲**
    - 利用使徒の明確化
  - **開示の範**
    - 第三者への提供する情報の明確化
  - **価値の分配・使徒**
    - 情報利用による価値の分配と使徒の明確化
- **取引市場者から見た要件**
  - **信託行為の存在**
    - 情報の運用行為が信託されていることの明確化

# データ取引市場運営者の責務と対策

## FIPPS

### (Fair Information Practice Principles)

- Notice
  - 情報收受を生成する都度、通知
- Choice
  - 情報收受の生成は、利用者が選択
- Access
  - 登録情報へのアクセスは、EverySenseのみ
- Accuracy
  - 虚偽情報は、約款と評価により排除
- Data Minimization
  - 情報は、メタ化による最小化
  - 情報の保存時間を最小化(キャッシュのみ)
- Security
  - 情報パス毎に暗号化
- Accountability
  - EverySenseがTTP

## 市場中立性の確保

- データ価値に対する中立性確保
  - 個別価格決定に対する恣意性排除
  - 自らデータを保持しない
  - 自らデータの売買をしない
  - LoDなどの無償データの取引対応
- 不正取引に対する監視義務
  - 取引(トランザクション)の記録
- 情報提供者の保護義務
  - データ内容に対する秘守義務
  - データインスペクションをしない

# IoTデータ取引市場の成長に向けた 制度設計上の課題と期待される制度整備

## 現状と課題

- データそのものを、直接に財化する仕組みは、前例がない。
- データ価値に対する寡占化により流通が阻害されている。
- データ価値に対する評価が確立されていない。
- データ取引市場及び市場運営者に対する認知不足。

## 市場成長への制度支援

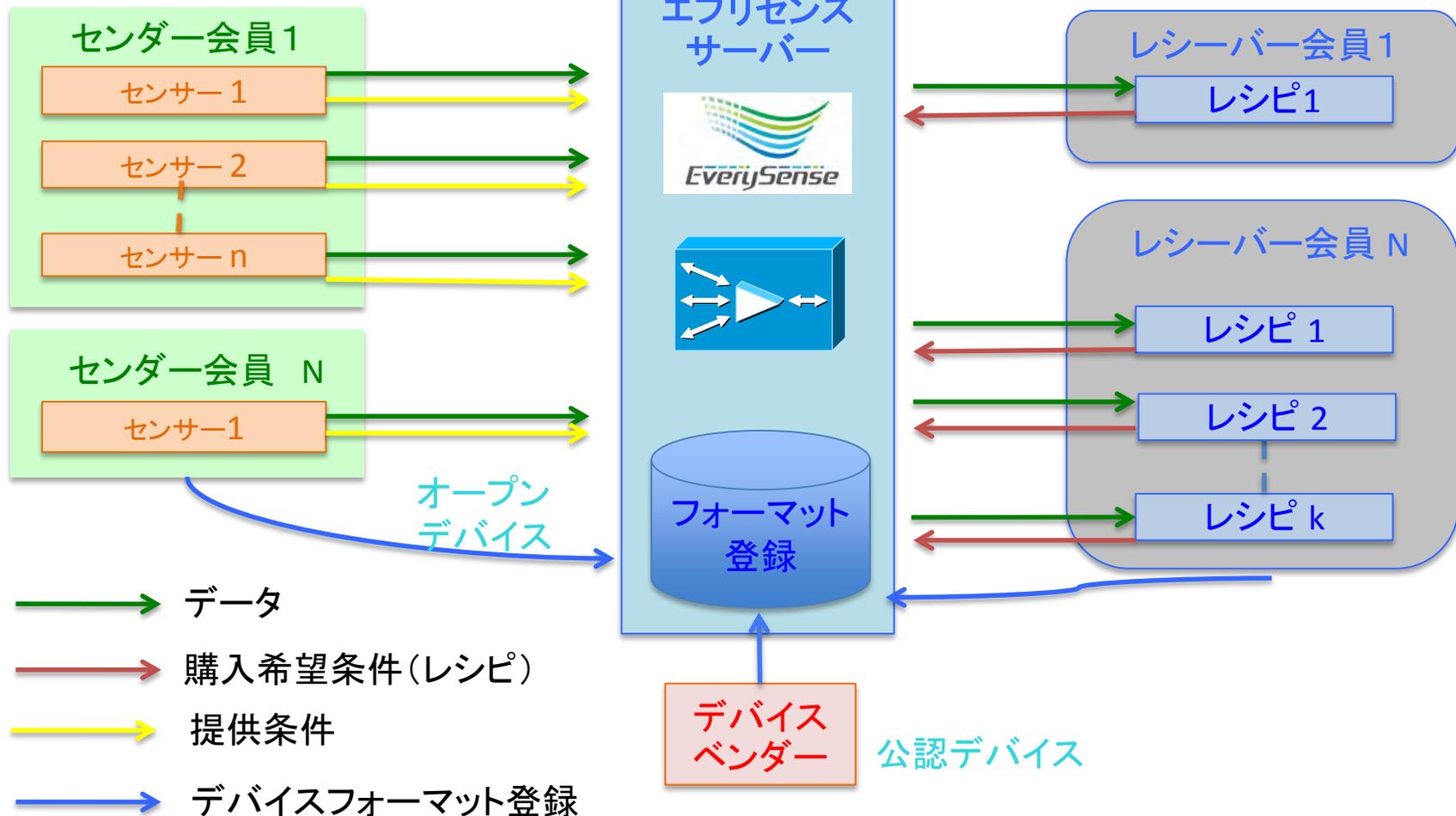
- 市場参加へのインセンティブ
  - データ売買収益に対する税制優遇措置
  - 会計基準、評価基準の明確化
- 健全な市場運営者の育成
  - 運営ガイドラインや認定制度の確立
- 市場成長への助成
  - 関連研究や助成事業による率先的利用の促進

# 情報のオーナーシップ、価値の配分、プライバシー、公平性を確保する仕組み

データ提供者  
ファームオーナー

情報流通取引市場

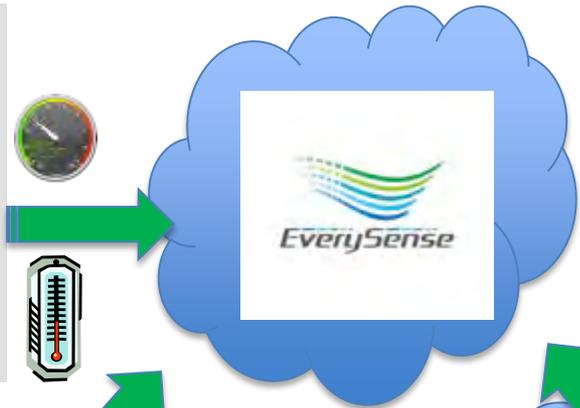
センサー情報収集者  
レストランオーナー



# 形式を選ばず情報収集

センサーから直接情報収集  
(SDKを公開)

•Every-Stamp  
(EverySense社製デバイス)  
も提供



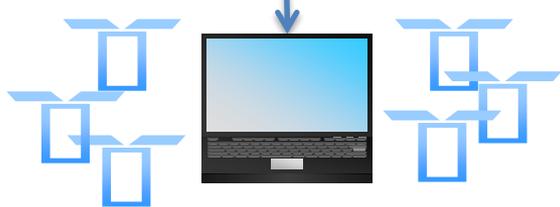
希望する情報を指定  
フォーマットで提供



Every-Post (スマートフォンア  
プリ:ES社開発)を経由してセ  
ンシング情報送信



インターネット



PCにながっているセンサーは  
インターネット経由で収集



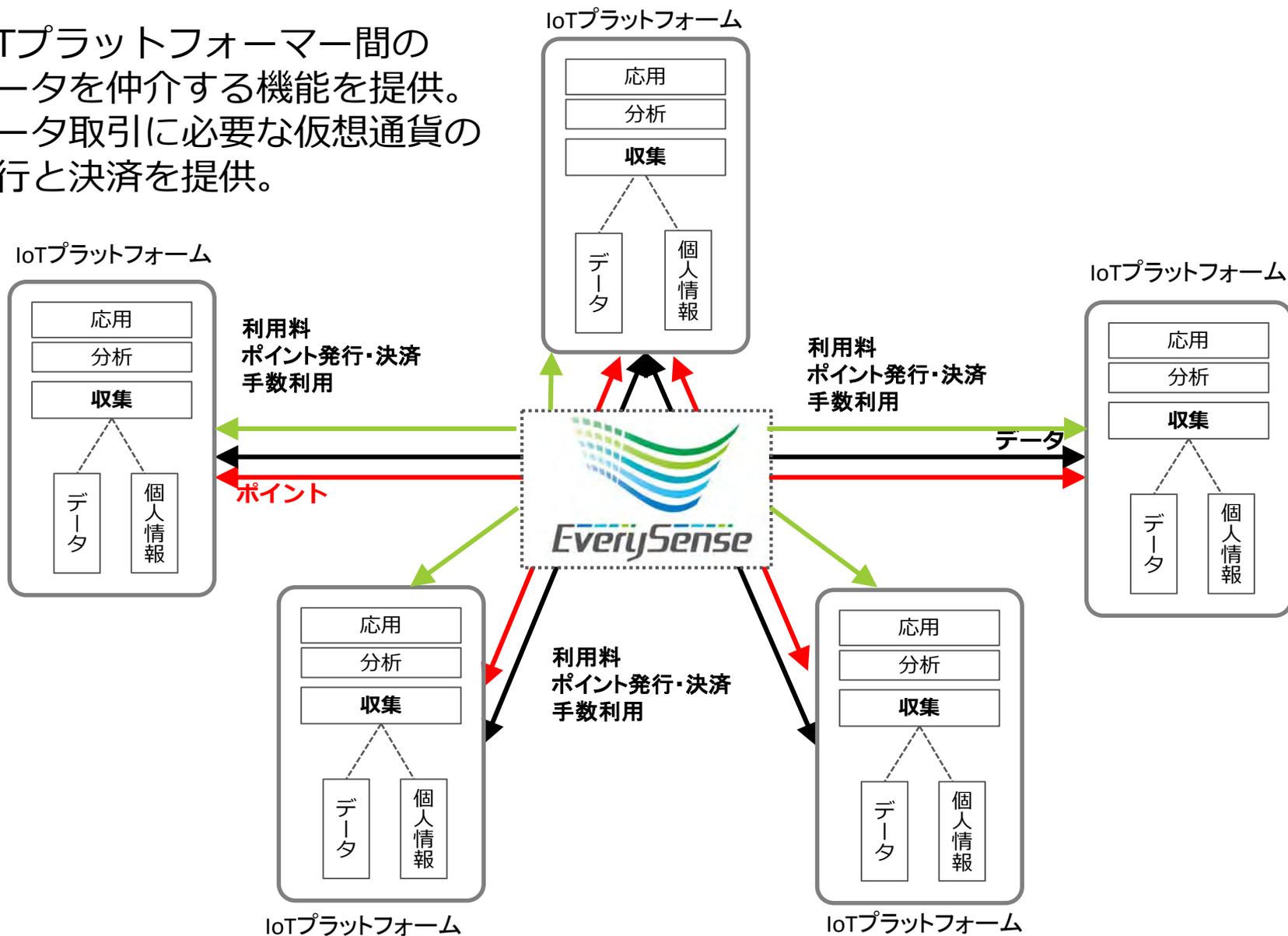
クラウドサービス

他社のクラウド  
サービスを経由し  
て情報収集



# IoT Exchange

IoTプラットフォーム間のデータを仲介する機能を提供。  
データ取引に必要な仮想通貨の発行と決済を提供。



# ビジネスの流れ

情報提供 / 報酬の獲得/登録料・使用料無料

情報収集 / 報酬の提供/受信料支払 (登録料無料)

センサー情報受領者  
(Restaurant owner)

センサ情報提供者  
(Farm owner)

センシング情報  
(生情報)

エブリセンス  
サーバー  
(E-  
marche)

センシング情報(メタ)

使用料(レシピ課金) ¥

アクセス権

EverySensePoint 購入 ¥

P

報酬 P

レシピ

Point  
Exchange

¥

P

センサー

ES社製スマホアプリ  
EveryPost  
(無償アカウント)

EveryStamp  
(ES社製デバイス)

¥ 購入

報酬 P

購入 ¥

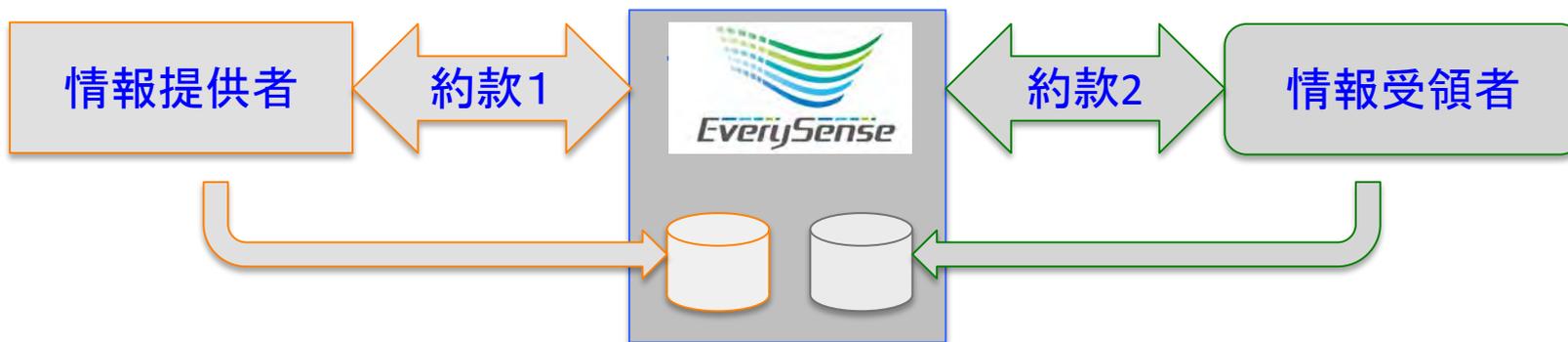
デバイスの登録 (無償)

EveySense 承認デバイス ロゴ

デバイス  
ベンダー



# 利用者との契約関係



- 情報提供者、情報受領者とも契約約款の許諾を行う。
- 利用者は、情報提供者、情報受領者のいずれか、または両方で契約可能。
- 利用開始時の登録情報は、メール到達性による確認のみ
- 情報提供者の登録情報は、申告登録により真性は約款に担保
- 情報受領者の登録情報は、本人確認を行う。

## 利用開始時の登録情報(共通)

- ◆ ログイン ID
- ◆ ユーザー名
- ◆ password
- ◆ Email address

## 情報提供者の登録情報

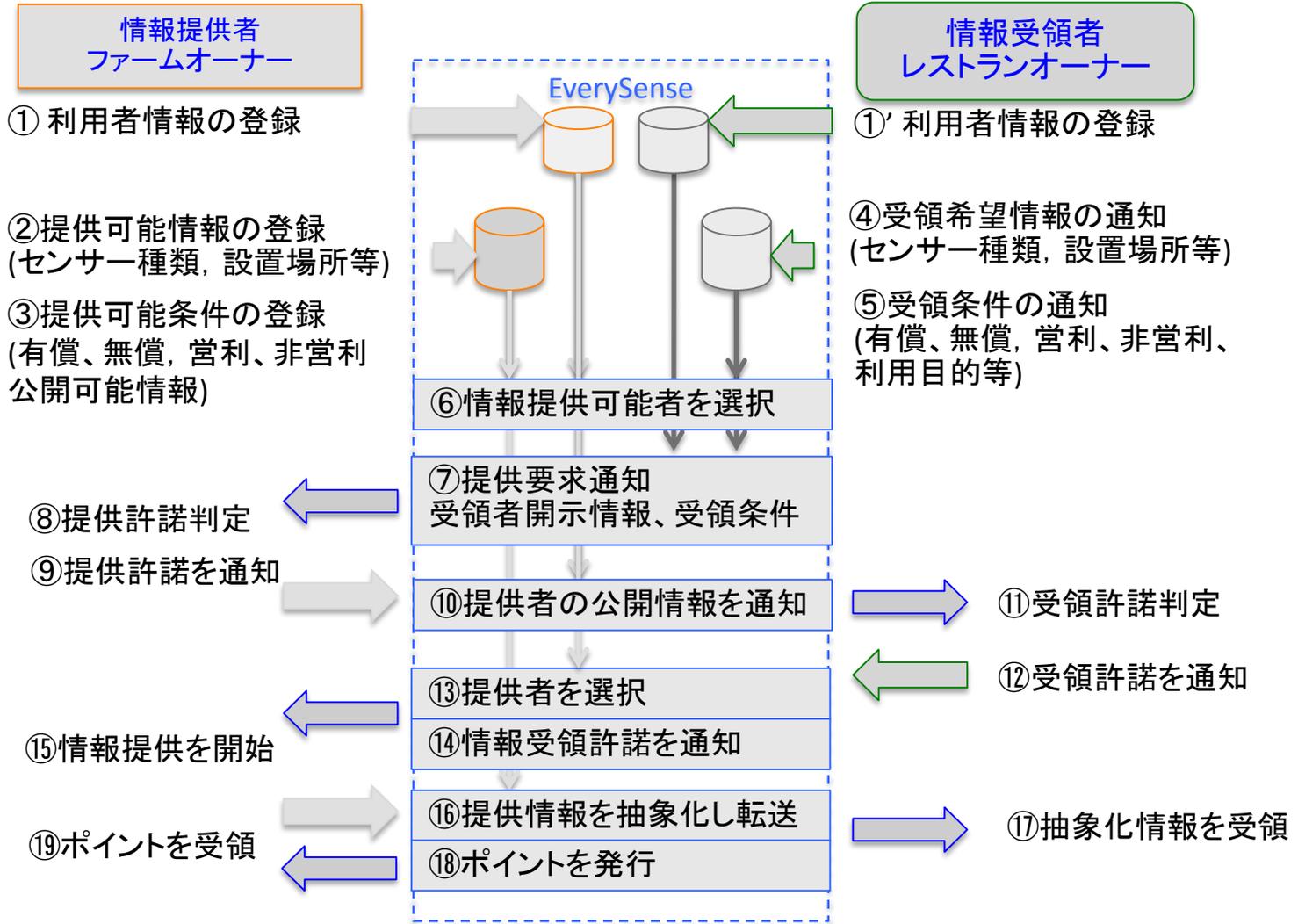
- ◆ 氏名
- ◆ 性別
- ◆ 生年月日
- ◆ 職業
- ◆ 住所

## 情報受領者の登録情報

- ◆ 担当者名
- ◆ 組織名
- ◆ 業種
- ◆ 住所
- ◆ 電話番号
- ◆ 経理担当者名
- ◆ 支払い方法

Accountability/Security/Accuracy

# FIPPSを実現する仕組み



データ取引は、逐次、相互同意により成立する

# EverySense ポリシー

## 保証する事

- 匿名性, 個人情報保護
  - 匿名、実名は、利用者が自由に設定可能。
- データコントロール権
  - データの利用範囲は、データ提供者が自由に設定可能。
- データ価値
  - データの取引価格、価値は、データ提供者と受領者で決定される。

## 提供する機能

- EverySense は、データを保持しない。
  - データの流れをコントロールするのみ
- EverySense は、データの価格決定をしない。
  - データの取引の仲介のみをする。
- EverySense は、データ提供書式を規定しない。
  - e-mail、RSS feed、Twitter、Facebook などの多様なインタフェイスを提供。

### Fair Information Practice Principles (“FIPPs”)

- ✓ Notice,
- ✓ Choice access
- ✓ Accuracy
- ✓ Data minimization
- ✓ Security
- ✓ Accountability

FTC Staff Report 2015より